



## ステップ1

# 春のカレンダーをつくろう！



『4月』といって、イメージされるものは何でしょうか？

日本では「新学期」「新年度」といった、「はじまりの季節」です。

今回の課題は、これから始まる新しい「春・夏・秋・冬」をイラストで表現する課題です。季節ならではのモチーフや服装、イベントを活用して、あなたならではの四季を表現しましょう。

### 【今月の課題】

- ・ 四季のモチーフについて考えよう
- ・ 色があたえるイメージについて学ぼう
- ・ 季節が伝わる表現を考えよう
- ・ 四季のイラストを描こう



## 季節のモチーフについて考えよう

ステップ1 まずは季節ごとのアイデアだしをしましょう。

### 日本の春の例



### ヒント

イラストに「個性」を出すために、あなたが住んでいる地域でその季節に目にするものや、地域のイベントなんかも考えてみよう



たとえば日本の場合、春には桜・入学式・鯉のぼりなどを見かけます。  
自然・色・イベントなど、まずは自分の中からアイデアを引き出してみてください。  
さらにお友達や家族からも聞いたり、調べてみましょう。

## 季節のモチーフについて考えよう

### ステップ2 モチーフから連想ゲームをしてみましょう。

それぞれのアイテムを掘り下げていくことで、さらに表現できるものの幅が広がります。自分自身の思い出(経験)から連想してみると、オリジナリティーが生まれるかもしれません。

#### いきもの



ちょうちょう  
⇒ ???

#### アイテム



ランドセル  
⇒ ???

左のモチーフから何を連想するかな？



#### 植物・自然 (例)



桜・たんぽぽ  
⇒ ピンク・イエロー (色)  
⇒ 花や葉の形 (デザイン)

#### イベント (例)



##### 入学式

⇒ 学校・体育館・教室 (ばしょ)  
⇒ あたらしいスタート (ものがたり)  
⇒ 先生・同級生 (ひと)

##### こどものひ

⇒ 休日・ゴールデンウィーク (シーン)  
⇒ かしわもち (たべもの)  
⇒ 鯉のウロコもよう (デザイン)

## 色の効果

「明るい」「暗い」「あたたかい」「つめたい」「おちつく」「げんきになる」など、実際に体験していないのに、絵やものをみて感じるがあります。こうしたイメージは、「色の効果」も重要なポイントです。

イラストのテーマや季節にあった色づかいで、あなたの思い描く四季を完成させましょう。



# 色があたえるイメージについて学ぼう

## ポイント2 色のグループと関係性

色には**暖色**・**寒色**・**中性色**というグループがあることを知っていますか？



### 暖色

あたたかさを感じる色

### 寒色

寒さ・つめたさを感じる色

### 中性色

暖色でも寒色でもない色

カラーサークルの、どの色が暖色・寒色・中性色のグループかな？



### 無彩色



白・黒・灰色は無彩色といいます。

暖色や寒色などとバランスよく組み合わせることで、色のケンカを落ち着かせます。

## 同系色（どうけいしょく）



似たもの同士の色。



色がケンカせず、統一感（とういつかん）がうまれる。

## 補色（ほしょく）



カラーサークルのなかで、一番はなれた色同士のこと。あざやかさ、にぎやかさがうまれる。



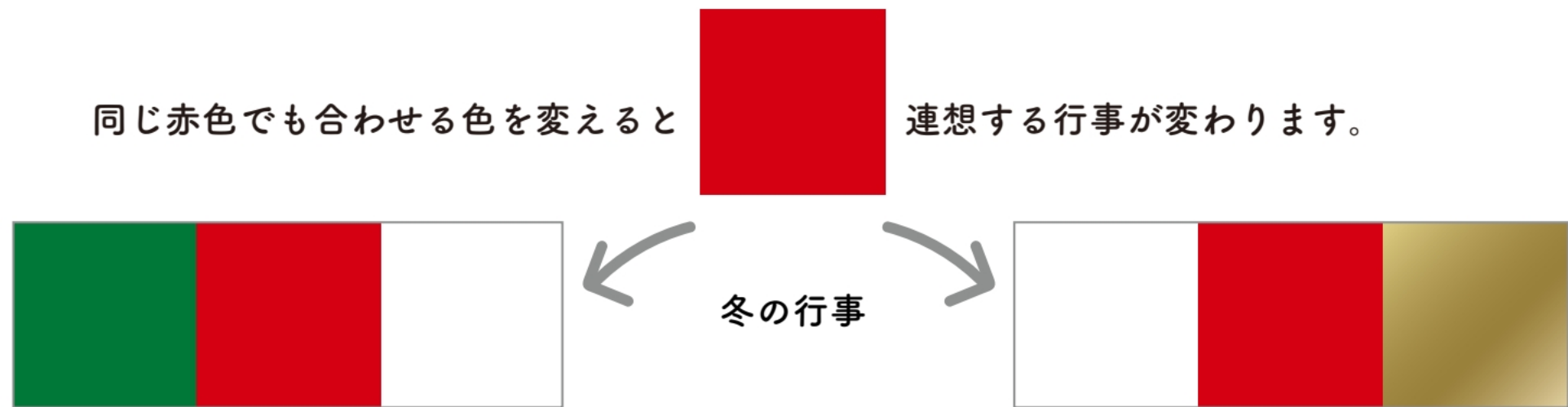
ほかにも「補色」はあるかな？



# 季節にあった「配色」を考えよう

## 行事から連想する色

各月を代表するような行事には色のイメージも付きものです。行事をイメージする色を合わせることでアイテムがなくても季節や行事のある月を想像させることができます。



色から季節や温度、行事を連想できる特ちょうを使うと、イラストなどのモチーフを使用せずに、配色だけで各月の特徴を伝えるカレンダーを作ることができます。

どの行事をイメージしているか分かるかな？12月と1月の冬の行事をイメージしているよ。



## 季節を「配色」で表現しよう

メモした、行事やアイテムから「色」を連想して、四角の中に各季節の色を置きましょう。

### 例) 春



春の桜と冬が明けて咲き出した、花や葉っぱの色をイメージして配色しました。

春の中でも「桜」だけで配色することもできます。ピンクから白の優しくてあたたかな色だけで作ることもできます。

季節を伝える配色は、体験した風景や行事を思い出して色を選ぶとまとめやすいです。



また、各季節や月に「元気」や「静か」などのイメージがあればそれに合わせて配色するのも手段です。春は「元気」な雰囲気。と考えたら彩度が高く少し反対色を入れるなどして組み合わせる。などです。



# 色があたえるイメージについて学ぼう

## ポイント1

### 四季を連想するカラー

「春」「夏」「秋」「冬」で、思い浮かんだ色をまとめましょう。身のまわりのものやイベント、経験から、感じたままメモしていきましょう。

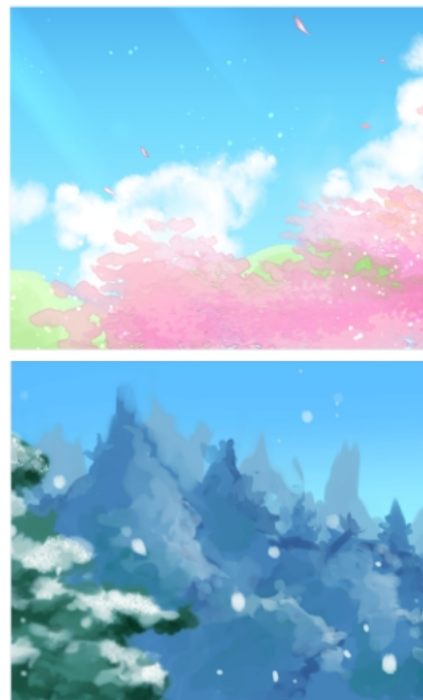


自然は目に触れることがおおく、イメージカラーとして連想しやすい。

## ポイント2

### あたたかさ・さむさの表現

暖色・寒色・中間色をうまく使うことで、イラストからあたたかさ・さむさといった（気温）を伝えることができます。



- さくら
- 太陽の光
- 若葉
- 空
- 山
- 雪

色の濃さ・鮮やかさ・明るさにも注目！



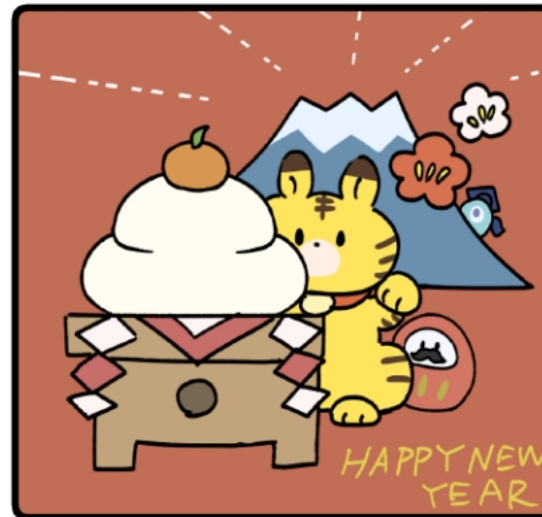
夏の海の暑さを伝えるために、上の絵に描き足すとしたら何かな？

# 季節が伝わる表現を考えよう

## ポイント1 イベントとむすびつけるとどうなる？

『季節ごとのイベント』も取り入れておくと、四季の表現が伝わりやすくなります。

みんなが知っているイベントだけでなく、住んでいる地域で行われているもの、自分の家族の間だけで一年のうちで必ずあるイベントを考えたりして、オリジナリティある表現も目指してみましょう。



一般的なイベント  
お正月



地域のイベント  
雪まつり（北海道）

みんながよく知っているイベントでも僕の・私の・わがやだけのルールや思い出があればイラストにとりいれてみよう



## 季節が伝わる表現を考えよう

### ポイント2 服装とアイテム

四季は、ファッションで表現することもできます。

四季で連想した色・気温・イベントに合わせて、服装、持ち物を考えていきましょう。

春



# デザインのポイント

## 頭身《年齢の表現》

キャラクターに合う「頭身（とうしん）」を考えてみましょう。  
頭身を意識（いしき）することで大まかな年れいを表すことができます。

頭身（とうしん）とは、からだの頭の何個分あるか？の単位です。

- ・ 3 頭身…全身が頭の大きさ 3 個分
- ・ 5 頭身…全身が頭の大きさ 5 個分
- ・ 6 頭身…全身が頭の大きさ 6 個分

### 3 頭身 | 幼稚園児



### 5 頭身 | 小学生



### 6 頭身 | 中学生～大人



# 著作権（ちょさくけん）を守ろう！



著作権法（ちょさくけんほう）という、  
作品の作者を守るための法律（ほうりつ）があります。

「漫画」「アニメ」「小説」などの、“**だれかがすでに作ったキャラクターや世界観をもとにして描いたイラスト**”は、勝手に発表することができません。

また、だれかの絵の「トレース（なぞりがき）」や「模写（真似して描くこと）」を「自分で描きました」と発表してしまうと、著作権の侵害になることがあります。

実際に、賞をとった絵や漫画が、だれかの作品の真似だったことから  
トラブルになったこともあるよ。  
なぜ他の人の真似をして発表することがいけないのかな？  
一緒に考えてみよう。



童話や昔話などの古い作品は、  
モチーフに使えることがあるので、  
先生に確認してね。

